

# 生ごみリサイクルをはじめよう①

## 生ごみの取り扱いについて

生ごみリサイクルで一番大切なことは、生ごみを新鮮なうちに処理して使うことです。

生ごみ腐らせると  
良い堆肥ができないよ



### ●生ごみを腐らせない方法1 空気に触れさせない

魚の内臓や果物の皮などに米ぬかや竹のすりつぶしをまぶすと、腐敗を防ぎ、臭いしません。生ごみをすぐに処理できないときや、腐りやすいものに米ぬかなどを使いましょう。米ぬかは精米店などで手に入ります。



米ぬかをまぶした生ごみ

### ●生ごみを腐らせない方法2 風乾(ふうかん)

生ごみの水分を減らすことで腐敗を防ぎ、長期保管ができます。風の中で生ごみを乾かす「風乾」という方法もあります。※NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク福渡和子様講演から

#### お茶の葉の風乾

網かごにお茶の葉を入れても、水切りは十分ではありません。水切りのために洗濯機用ネットなどを利用すると、茶がらが手に付かず便利です。

① ネットに茶がらを入れて、しっかりしぼります。



② ネットの中の団子状の茶がらをほぐして、フキン掛けや竿に干して風乾します。



#### 葉ものなどの風乾

新聞紙を利用して、水切りをする方法です。

① 生ごみを新聞紙に広げます。



② 竿に新聞紙をはさんで干し、風乾します。



## 基材を準備しよう

下記の①～④、または混ぜたものをコンポストに入れ、生ごみを毎日入れていくと、分解されて堆肥になります。

- ① 竹のすりつぶし(マッシュバンブー)  
竹を機械ですりつぶし、粉々にしたものを。
- ② 落ち葉
- ③ 花を育てた後の土  
しおれた花と土を混ぜて、日光消毒して使います。
- ④ まさ土・畑の土・園芸店などで購入した腐葉土



竹林



マッシュバンブー